



～世界遺産の町の水事情が改善！～ カンボジア・シェムリアップ州

作成：上下水道局海外事業課

発行日：令和3年2月26日



入国後14日間の隔離措置などCOVID-19の影響を受けながら、令和2年12月からカンボジアに出張で約3か月間滞在しています。今回の主な業務の一つが、**シェムリアップ上水道拡張事業**の施工監理業務です。

カンボジアのシェムリアップは、**世界遺産アンコールワットのある町**として知られています。観光都市として急成長する一方で、水道インフラが十分に整備されておらず、現在、日本政府による支援が進行中です。

現在のシェムリアップの水道普及率は約30%で、残りの70%を補完するため、**①水源地からの取水→②浄水場の整備→③市内配水管の布設**という水道インフラを一括して整備するプロジェクトで、**総額約70億円**の一大事業です。国際競争入札で施工業者が決定され、北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業も受注しています。

本プロジェクトは、上下水道局にとって、2011年から足掛け10年間にわたって設計から施工監理まで関与してきた重要なプロジェクトの一つです。本プロジェクト完了時には**シェムリアップの水事情は劇的に向上し、安全・安心な水の供給に大きく貢献**することになります。

シェムリアップは前述のとおり、カンボジアを代表する観光都市であり、COVID-19のパンデミックの影響も大きく、閉店してしまったホテルや店舗も少なくありません。しかしながら、現地ではこれを好機と捉え、1年で1億5,000万ドル(約160億円)を投入し、これまで難しかった**道路や下水道などの都市インフラ整備を、一挙に実施**しています。

本プロジェクトもこれにより、配水管の布設路線の変更や布設完了した管路の手直しが必要になるなど、大きな影響を受けています。しかしながら、2021年2月現在、COVID-19の影響による工事の遅れも急ピッチで取り戻しつつあり、**2022年秋ごろに全体工事が完了**する見込みです。

刻々と状況が変わっていく中で、臨機応変な対応が求められますが、事故が起これないよう、**安全面の指導の徹底や丁寧な施工監理**を心がけ、プロジェクトの成功につなげていきます。



世界遺産 アンコールワット



取水場施工現場（トンレサップ湖近隣）



配水管施工現場（既設の下水道管渠に近接しており、慎重な作業が求められます。）

報告者：上下水道局 海外事業課 海外事業担当係長 廣渡 博

クメール語で本格的に生活ができる市役所唯一の職員。プロジェクトの現場は、日本企業、カンボジア企業、中国企業が参画する多国籍な環境です。最近ではクメール語での業務も可能になってきました。中国企業とは漢字と片言の中国語でコミュニケーションを取っています。



工事現場での報告者